

埼玉県議会議員

あらい一徳



安心、安全で豊かな暮らしの実現を目指して

県政ニュース

平素より、私の議員活動にご支援を賜り、ありがとうございます。先月は40年ぶりの大寒波の襲来や4年ぶりの大雪などで、日常生活にも大きな支障があったことと思います。今月は立春を迎え、いよいよ春の足音が近づいてきます。今月も、地域活性化に向けた市民の皆様のさまざまな活動を応援していきたいと考えています。

あらい一徳県政報告ニュース2月号では、現在、**経済対策**や**子育て支援**など県議会で取り組んでいる活動についてご報告させていただきます。

地域活性化を目指し、小規模企業振興基本条例を制定

小規模企業は地域に根ざして、地元の需要に応え、雇用を担うなど、地域活性化に貢献しており、なくてはならない存在です。

本県は今後、全国一のスピードで高齢化が進行すると指摘されており、生産年齢人口の減少による社会の活力の低下が懸念されています。そうした情勢下で、小規模企業は海外との競争激化や、売上の減少、経営陣の高齢化や事業継承者の不足など、さまざまな課題を抱えているのが実情です。

こうした中、小規模企業が経済社会状況の変化に柔軟に対応して経営を維持することや新たな事業展開に乗り出すことなどが、当該企業のみならず、地域全体の活性化につながると考え、昨年の12月定例会で、私ども自由民主党議員団の提案により、「埼玉県小規模企業振興基本条例」を制定いたしました。



小規模企業の持続的発展を実現へ

この条例は、小規模企業の振興の基本となる事項を定め、小規模企業の事業の持続的な発展を図ることで、県経済の活性化や県民生活の向上に寄与することが目的です。

具体的には、

- ①多様なニーズに応じた商品販売・役務提供の促進
- ②新たな事業展開、創業の促進や事業承継の円滑化
- ③経営に必要な人材の育成・確保
- ④商工団体の活動の促進



などを通じて、小規模企業の振興を図っていきます。(裏面へ続く)

フィンランドの子育て政策を学ぶ

少子化対策を考えるために、昨年秋、高福祉国家のフィンランドを視察で訪れ、さまざまな施策を学ぶことができました。

フィンランドでは、妊娠期から出産、子どもの就学前までの間、母子とその家族を支援する目的で、各地方自治体が「ネウボラ」という拠点を整備し、このネウボラで母子らの支援を行っています。フィンランド語で「ネウボ」は助言、「ラ」は場所を意味し、「助言する場」という意味になります。

妊娠期から出産、子どもの就学期まで、切れ目のない支援

フィンランドでは、女性は自らが妊娠したことが分かると、地元のネウボラへ通って、出産などのアドバイスを受けることから出産準備が始まります。そして、子どもが6歳になるまで、母子が切れ目のないサポートをワンストップで受けることができます。

子育て期における母親の不安を解消へ

日本では、母子支援がワンストップで行われていないことに不便や不安を感じる母子も多く、こうした事情も合計特殊出生率の低下につながっているのかもしれませんが。県内でもすでに独自のネウボラを始めた自治体もありますが、少子化対策として、このネウボラ導入を積極的に進めていきたいと考えています。



国道17号の老朽化した路面の改修に着手

道路網は、地域間交流を活性化させ、県民の安全で安心な暮らしを支える必要不可欠な社会資本です。その整備を強力に推進するための要望活動などにも力を入れています。

そうした社会資本の整備で、国道17号の老朽化した路面の改修は喫緊の課題の一つです。建設から50年以上が経過し、ひび割れが目立つようになっています。沿道の皆様から「大型車の通行による振動が激しく、日常生活に支障を来している」との切実なお声が数多く寄せられ、「早急に対応を」とのご要望をいただいていた。

こうしたお声を受け、地元の中根一幸衆議院議員とともに国土交通省への要望活動を継続的に行う一方、国土交通省の担当者にも、北本市内の現場に足をお運びいただき、路面のひび割れ状況を調査していただいたり、現場の状況説明を受けるなどしてきました。

まずは北本・宮内地内と深井地内で改修

本年度（～2018年3月末）に改修が決まった場所は2か所です。傷みが激しい北本・宮内地内ですすでに工事が始まっているほか、先ごろ国で成立した2017年度補正予算に盛り込まれた公共事業費で、深井地内も追加となりました。

まずは、2か所で先行して改修が進みますが、今後も、傷みが激しい箇所については速やかに改修できるよう、引き続き要望を続けていきます。本年も、北本市民が安心して安全に暮らせる街づくりに全力を尽くす覚悟です。



新井一徳プロフィール

- 昭和48年1月19日、北本市生まれ。
- 北本市立石戸小学校、西中学校、埼玉県立熊谷高等学校を経て、慶應義塾大学卒。社会人時代はテレビ埼玉、北海道新聞でジャーナリストを務める。
- 平成23年春の埼玉県議会議員選挙で初当選し、現在は2期目。産業労働企業委員長、人材育成・文化・スポーツ振興特別副委員長などを歴任し、現在は警察危機管理防災委員長として、防災活動や防犯活動に力を注ぐ。

あらい一徳県政調査事務所

☎ 364-0031 北本市中央 1-81
Tel 048-594-1600 Fax 048-594-1602
月～金の AM9:30～PM5:30に開設中。
ご意見ご要望をお寄せください。